



# 高輪だより

令和4年度 11月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

## 子どもたち一人ひとりが輝いた運動会

園長 柿沼 敦子

さわやかな 10月22日土曜日、待望の3学年一緒にの運動会を開催することができました。年長、年中、年少それぞれの表現や、かけっこ、リレーは、当日までの取組の成果を存分に発揮することができました。また、親子一緒にのプログラムでは、子どもたちのこの上ない笑顔があふれ、親子ともに輝く時間となりました。応援して下さった、ご来賓、ご家族の皆様、ありがとうございました。

年長のリレーは、抜かす、抜かれつという見ごたえのある勝負でした。年長は、2学期になって、何度も何度もリレーを楽しんできました。一人ひとりが、何度も勝つことや負けることを経験しました。初めのころは負けそうになると途中で走るのをやめたり、負けた時に泣きだしたり、相手に対して心無い言葉を発したりなどの様子がありました。しかし、一方では転んでも、靴が脱げても最後まで一生懸命に走る姿もありました。担任は、そのような様々な姿を捉えては子どもたちと一緒に考える時間をもちました。次第にチームとして戦う意識も芽生え、仲間と勝つための作戦を考えたり、最後まで諦めずに走ったりできるようになりました。運動会当日、精いっぱい力を出して走る様子やチームの友達に心から声援を送る姿に会場中の人たちが感動されたことと思います。先月の高輪だよりに『仲間と群れながら活発に遊ぶという繰り返しが、子どもの体だけではなく、脳や心を発達させ「何事にも頑張る力」を心身ともに育む。仲間と遊ぶ楽しさを味わう中で、子どもが直面する問題を自分で、あるいは仲間と考えたり、試したりして遊び込んでいる時こそ非認知能力（積極性、協調性、粘り強さ、忍耐力など）が育っている』と載せました。毎日毎日、主体的に遊び込んでいる子どもたちは強い!!と、胸を張って言える成果でした。

さらに年長組は、表現「獅子の舞」のメリハリのある動きと隊形移動、自分の役割としてプログラムのアナウンスなどに精一杯取り組む姿に大きな成長を感じました。年少、年中児はそんな年長児の姿にあこがれをもったことでしょう。3学年一緒にする運動会にその良さがあります。大きな舞台上で活躍する年長さんへのあこがれの気持ちは、これから年少・年中児の伸びる力となっていくことでしょう。子どもたち一人ひとりが輝いた運動会、大人も子どもたちからパワーをもらうことができたと思います。ご家族の皆様一緒に運動会を楽しんでくださり、ありがとうございました。



3歳児「ひまわりサンバ」  
☆年中さんに見てもらおう!



4歳児表現「風の島、忍者参上」  
☆忍法!石に化ける術!



5歳児表現「獅子の舞」  
☆フィナーレ「やっ!!」

たかなわんだふる



<年少>

初めての運動会で親の方がワクワクしていました!年少は可愛らしく、微笑ましいダンス、年中さんの一生懸命走っていたかけっこ、年長さんのリレーでは親御さんたちも本気で応援している姿が印象的でした。

## ☆運動会のご感想から

<年中>

年少さんの可愛いダンスをみて去年を思い出し懐かしくなり、年長さんの獅子の舞やリレーでの成長した姿を見たことにより、我が子の未来を想像し、とてもワクワクする運動会でした。



<年長>

○リレーでは、「僕がいるチームは勝つことが多いんだよ。だからちゃんと見てね」と自信たっぷりでした。親としては転んだ時、負けた時に立ち直れるのかと心配でした。結果は、惜しくも負けてしまい悔しかったようでしたが、泣かずに相手チームに拍手を送っていました。負けた経験はきっと我が子を強く逞しく大きく育ててくれると思います。運動会明けの日、皆でリレーをしたいと登園しました。小学校のかけっこでは「絶対1番になる」と燃えています。  
○全園児揃っての運動会に、数日前から子どものドキドキする気持ちやワクワクする気持ちが自宅でも見られ、楽しみにしている様子でした。当日は年長らしく 周りを良く見て、みんなと協力して臨んでいて成長を感じました。